

Listen and Speak! らくらく英検2級 II

～ 英語ができる人になる ～

第10回 Job satisfaction Script

* はじめに *

ようこそ “Listen and Speak! らくらく英検2級 セカンドシリーズ”へ。

この番組は英検でおなじみの、日本英語検定協会がお送りする、全ての『英語ができる人』になりたい人たちのための番組です。これから英検2級や準2級を目指す人はもちろん、さらにその上を目指して、本当に『英語ができる人』になりたいというあなたにとって必ず役に立ちますよ。後半はちょっと難しかったり、大変だったりするかもしれませんが、私、伊藤太と頼れるパートナーの Gary Scott Fine がしっかり『英語ができる人』になりたいあなたをサポートします。

Yes, this program will not only help you succeed on Eiken Tests, but it will also help you improve your English ability, especially listening and speaking. However, the real aim of this program is to help you learn more than English itself.

We are not just interested in whether you can use English, but in what you can do with English.

Program Number 10 “Job satisfaction”

さて、今回のタイトル “Job satisfaction” は「仕事のやりがい」「働きがい」という意味です。やりがいや働きがいは人によって、あるいは価値観や状況によっても様々に異なるのかもしれませんが、しかし、共通するものも少なくないと思います。今回は、満足ややりがい、働きがいといったポジティブな感情はどうやってもたらされるのかを考えてみたいと思います。それでは、この後のヒントになるかもしれないので、まずはゲーリーと私の会話を聞いてください。

■Introduction (導入の対話)

- F: やあ、ゲーリー。とても疲れているみたいだね。どうしたんだい。
- G: ああ、ちょっと野暮用があつてね、長旅をしたってわけなんだ。それに、日本に帰って来てからというもの、ずっと仕事の締め切りに埋没してたよ。だから本当に疲れてるんだ。
- F: それは大変だ。だけど、君はどうしてそんなに一所懸命働くんだろう。君の仕事のモチベーションは一体なに？
- G: それは簡単には答えられないな。僕がハードに働く理由はたくさんあるよ。その一つは個人としての満足感かな。
- F: こいつは驚きだな。毎日そんなにハードに仕事をしていても、君は自分の仕事に満足してるってわけ？ その満足は一体どこからくるんだろう。
- G: そうだな、それは僕自身の自意識と関係があると思うんだ。自分がどんな人間なのかという自己像の一部は仕事から得られている。君はどうなんだい、フトシ。僕は君こそずっと恐ろしくハードに働いているのを知ってるよ。君だって自分の仕事に満足感を感じているはずだよ。そうじゃなかったらそんなにハードに働けないだろ。君の仕事のモチベーションは何だい？ あるいは、君の仕事のやりがいでも最大なものは何かな？
- F: 金だよ、金。それだけさ。
- G: いや、それはあり得ないね。もしお金が君のハードワークの唯一の理由だとしたら、君は賃金奴隷だよ！ 何か他にないの、フトシ。
- F: ふーむ、ビールだな。仕事の後にちょっと引っかけのビールだよ。
- G: それは理解できるよ。このポッドキャストシリーズを取り終えた後にビールを飲みに行くのは僕らにとって大きな報酬だよ。だけど、お金もビールも外的要因で、君の内的自意識とは必ずしも関係がないよね。
- F: その通りだよ。じゃあ、僕らはどうして仕事に満足感を覚えるのかについて考えながら、今日のレッスンに取り掛かるってのはどうだい？
- G: それはいい考えだね。今日のエクササイズを始めることにしようか。
- F: オーケー、それでは…
- G/F: 始めよう！

1 Exercise 1 dialogue (対話)

これから流れる男女の対話を聞いて、後の問いに答えてください。これから流れる対話は過去の英検に出題されたリスニング問題の一つです。実際の問題は、対話を聞いてから適当な選択肢を選ぶ形式ですが、ここではちょっと頑張って、ゲーリーの質問に自分の言葉を使って英語で答えてみるようにしてください。いいですか、もう一度言いますよ。対話を聞いた後、ゲーリーの質問に自分の言葉で答えてください。二次試験の面接対策にもなりますし、とても役に立ちますよ。それでは、始めます。

対話を聞いて次の質問に答えなさい。【2014年度 第3回 2級 No.14】

女性：お父さん、仕事が見つかったの！ イーストウッドテクノロジー社でコンピュータプログラマーとして働くことになったのよ。

男性：それは素晴らしいよ、デビー。仕事はいつから始まるのかな。

女性：来週よ。唯一の問題は私の上司になる人があまりフレンドリーじゃないってことなの。彼とうまくやっていけるか心配だわ。

男性：それは困ったね。だけど、いいかい、人はふつう初めの印象よりもいい人だろ。

次の問いに自分の言葉で答えなさい。

質問： デビーは何を気にしていますか。

それでは、語彙と会話の表現について確認をしましょう。

■語彙と表現を学ぼう

私の日本語を聞いて、ゲーリーに続いて英語で発音してください。

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 唯一の問題は… | The only problem is that... |
| 2. 上司 | boss |
| 3. ～と上手くやっていく | get along with ～ |

それでは、少し答え方についてヒントを出しましょう。Questionの“**What is Debbie worried about?**”は「デビーが心配しているのは何ですか」という意味ですね。ダイアログの中ではっきりと“**I’m worried that I won’t get along with him.**”と発言しているところがありますが、そのまま答えてしまっただけでは“**him**”が誰なのか全く分かりませんね。“**him**”について十分な情報を含んだ答えになるようにしてください。それでは、この点に注意してもう一度聞いてみましょう。

対話を聞いて次の質問に答えなさい。【2014年度 第3回 2級 No.14】

女性：お父さん、仕事が見つかったの！ イーストウッドテクノロジー社でコンピュータプログラマーとして働くことになったのよ。

男性：それは素晴らしいよ、デビー。仕事はいつから始まるのかな。

女性：来週よ。唯一の問題は私の上司になる人があまりフレンドリーじゃないってことなの。彼とうまくやっていけるか心配だわ。

男性：それは困ったね。だけど、いいかい、人はふつう初めの印象よりもいい人だろ。

次の問いに自分の言葉で答えなさい。

質問： デビーは何を気にしていますか。

■模範解答

模範解答を聞いて、大事な点を考え、自分の答えと比較してください。

質問： デビーは何を気にしていますか。

She's worried that she won't get along with the person who's going to be her boss.

彼女は自分の上司になる人物と上手くやっていけるか心配している。

では少し確認しましょう。初めの説明の通り、ポイントは デビーが発言している “I'm worried that I won't get along with him.” の “him” にありますね。それから、I を she にすることも忘れないようにしましょう。モデルアンサーを聞き直して、この点を確認してください。

今回のテーマ “Job satisfaction” に大きく影響する要素の “work itself” 「仕事自体」には満足しているものの、 もう一つの重要な要素 “co-worker relationships” 「職場の人間関係」には心配しているというところですね。

2 Exercise 2 passage (文章)

このエクササイズでは、短い文章が読まれた後にゲーリーが一つ質問をしますので、自分が思ったことを自由に答えてください。主語と正しい答え方に注意して、聞かれたことに対してまっすぐ答えてくださいね。

英文を聞いて次の質問に答えなさい。 【2014年度 第3回 2級 No.16】

2年前、クインシーは小さな靴工場で働き始めました。彼は、機械の操作や製品の入室管理など様々な仕事を与えられました。クインシーは身につけるのが速く、多くの異なる種類の仕事を上手くやることができます。他の工員たちはクインシーをととても尊敬しており、それでオーナーは最近彼をアシスタントマネジャーに昇進させることに決めました。

次の問いに自分の言葉で答えてください。

質問：なぜ他の労働者はクインシーをととても尊敬しているのですか。

さあ、きちんと聞き取れましたか。それでは、少し語彙と英文の表現を確認しましょう。

■語彙と表現を学ぼう

私の日本語を聞いて、ゲーリーに続いて英語で発音してください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 様々な | various |
| 2. ～を操作する | operate ～ |
| 3. 品質 | quality |
| 4. ～を昇進させる | promote ～ |

答えそのものは簡単ですね。そういうときは特に滑らかに答えられるように集中してくださいね。それではこの点にも注意して、もう一度聞いてください。

英文を聞いて次の質問に答えなさい。【2014年度 第3回 2級 No.16】

2年前、クインシーは小さな靴工場で働き始めました。彼は、機械の操作や製品の入室管理など様々な仕事を与えられました。クインシーは身につけるのが速く、多くの異なる種類の仕事を上手くやることができます。他の工員たちはクインシーをととても尊敬しており、それでオーナーは最近彼をアシスタントマネジャーに昇進させることに決めました。

次の問いに自分の言葉で答えてください。

質問：なぜ他の労働者はクインシーをととても尊敬しているのですか。

■模範解答

模範解答を聞いて、自分の答えと比べてください。

質問：なぜ他の労働者はクインシーをととても尊敬しているのですか。

Because he learns quickly and is able to do many different kinds of jobs well.

彼は習得が速く多くの異なる仕事を上手くこなすことができるからです。

さあ、どうでしたか。答えは単純でしたが、スラスラと発音ができましたか。モデルアンサーを聞き直して、ゲーリーの発音をそっくり真似してみましょう。

クインシーの“job satisfaction”はどこからくるのか気になりますね。“promotional opportunity”「昇進の機会」かもしれませんが、それだけではなさそうですね。もっと内発的な何か、例えば、“personal growth”「個人としての成長」や“advancement”「進歩」なども大きな要素になっているかもしれません。

こんなふうに、ただ受動的に「聞く」だけでなく、「考えながら聞く」または「聞きながら考える」ことが実際のコミュニケーションでは大切になります。これを意識しながら英語を聞く練習は『英語ができる人』になるのに、とても役に立ちますよ。

■英文を使った反復練習

さあ、ここからは、放送された英文について **Repetition Drill** を行います。repetition は反復でしたね。ポーズの間にゲーリーの英語をできるだけそっくりに真似してみましょ。単語の発音だけでなく、イントネーションや雰囲気も真似してくださいね。

1) 反復練習

それぞれにポーズの間に反復してください。何度も繰り返して練習してくださいね。そうすれば、きつともっと上手くできるようになりますよ。準備はいいですか。それでは、始めます。

Two years ago, /
Quincy started working /
at a small shoe factory. //
He was given various jobs to do, /
such as operating machines /
and checking the quality of the products. //
Quincy learns quickly /
and is able to do many different kinds of jobs well. //
The other workers respect Quincy a lot, /
so the owner recently decided to promote him to assistant manager. //

どうでしたか。上手に真似ができると楽しいですね。さあ、次は『英語ができる人』は必ずと言っていいほど練習するシャドウイングにいきます。私が実際、少しシャドウイングのお手本を示しますね。ゲーリーの後に続いてシャドウイング、つまり、ゲーリーの言葉の影を追うような形で、聞きながらゲーリーの言葉を真似していきます。

2) シャドーイング練習 1

聞きながら、それぞれのパートごとにシャドーイングしてください。

(G → F)

Two years ago, /
Quincy started working /
at a small shoe factory. //
He was given various jobs to do, /
such as operating machines /
and checking the quality of the products. //
Quincy learns quickly /
and is able to do many different kinds of jobs well. //
The other workers respect Quincy a lot, /
so the owner recently decided to promote him to assistant manager. //

要領はつかめましたね。次は実際に自分で **shadowing** にチャレンジしてください。**shadowing** は自分で **speaking** をするという負荷をかけながら **listening** をするので、筋トレと同じように「耳トレ」になります。必ず **listening** の能力が向上しますので、できるまで何度でも繰り返してください。

聞く音声の方を大きくして、自分の声はあまり聞こえないようにすると一層効果が上がりますよ。

2) シャドーイング練習 1

聞きながら、それぞれのパートごとにシャドーイングしてください。

準備はいいですか。それでは、始めます。

Two years ago, /

Quincy started working /

at a small shoe factory. //

He was given various jobs to do, /

such as operating machines /

and checking the quality of the products. //

Quincy learns quickly /

and is able to do many different kinds of jobs well. //

The other workers respect Quincy a lot, /

so the owner recently decided to promote him to assistant manager. //

どうですか。できるようになるとすごく楽しいし、やりがいがあるでしょう。次はセンテンスの途中に区切りはありませんよ。各センテンスの間も短いですから、一気にパッセージ全体をシャドウイングできるように頑張ってくださいね。できたらとても達成感が得られますよ。

3) シャドーイング練習 2

センテンスの全体を最初から最後までシャドーイングしてください。何度も練習してくださいね。

きっと達成感が味わえるはずです。準備はいいですか。それでは始めます。

Two years ago, Quincy started working at a small shoe factory. //

He was given various jobs to do, such as operating machines and checking the quality of the products. //

Quincy learns quickly and is able to do many different kinds of jobs well. //

The other workers respect Quincy a lot, so the owner recently decided to promote him to assistant manager. //

3 Challenge passage & opinion (文と意見)

さて、いよいよ最後のエクササイズ、チャレンジのコーナーです。ここからは一気に英語だけで進めていきますから、しっかり集中してくださいね。

次の英文を聞いて、ゲーリーの質問に答えてください。【2014年度 第3回 2級 No. 24】

スーザンはヘアスタイリストで、客との会話を楽しんでいます。しかし、彼女がそれぞれの客に会うのは大体月に1回なので、個々の客が話したいことを覚えておくのが難しいことがあります。それで毎晩帰宅する前に、スーザンは自分が髪を切った客と彼らが話した話題についてノートを取っています。そのようにして、彼女は客と楽しい会話をするのを助ける事柄を覚えておくことができるのです。

さて、これからゲーリーがこの文についていくつか重要な点を挙げ、そして質問をします。その質問に答えてください。できるだけ上手く自分の意見を表現できるようにしてください。

この文によれば、スーザンというヘアスタイリストは、客と楽しく会話をするための特別な方法を持っています。毎晩、彼女はその日それぞれの客と話し合った話題について記録を取っています。彼女はとても勤勉で仕事に幸福を感じていると思います。

これに関連してある調査を紹介して皆さんにそれについて考えてもらいたいと思います。2013年に行われた調査によればアメリカ合衆国で自分の仕事に満足している人の割合は47.7%でした。これは全てのアメリカ人労働者の中の半数以上が自分の仕事に満足していないということです。回答者が「満足」「不満足」と答えた理由は実に多様です。中には仕事の満足における最大の要因はお金だとする人もいました。また、仕事仲間との人間関係に言及する人もいました。私が思うには他にいくつかの重要な要因があります。例えば、安心、昇進の機会、個人的成長、などです。

さて、ここで質問をしたいと思います。仕事の満足感に影響を与えるのは何だと思いますか。あるいは、あなた自身の仕事の満足感における最大要因は何ですか。自分の答えを説明してください。

■模範解答

さあ、フトシの言うことに耳を傾けてみましょう。彼が模範解答を提示します。よく聞いて自分の答えと比べてください。

仕事の満足感を決定付ける重要要因は個々人の価値観や状況によって変化するように思われます。しかし、私にとっては貢献の実感が一番です。

私は仕事の満足感に結びつく主要な要因は大別して二つに分かれると思います。一方は外的、もう一方は内的要因です。

外的要因は金、昇進、名声、労働時間そして労働環境を含みます。こうした外的は私たちの仕事に対する姿勢に影響を与えるかもしれませんが、それらは仕事そのものと深い意味での

真の精神とは全く関係がないので、その効果は限定的かつ表面的かもしれないのです。

一方、仕事の重要性、明確な方向性と目的、個人としての成長、そして貢献の実感などの内的要因は仕事そのものと直接的に結びついており、人間として意義ある生き方をしたいという深く根差した願望と密接に関連しています。こうしたことが外的要因よりも仕事の満足感を高めることができるのです。

さらに、内的要因の中でも、貢献の実感が最も重要であり、仕事の満足感の本質的な源だと思います。私の考えでは、仕事の本質は貢献です。人間は自身の行動が他者の役に立って初めて満足する動物です。もし、私たちが他者に期待を上回る貢献ができれば、相手だけでなく自分自身も幸福を感じることができます。こうした幸福の共有意識は、そしてこの幸福は自分の行動の結果であるという事実は、両者にとっての大きな満足へとつながる可能性があるのです。つまり、私たちは他者の役に立つことによって満足することができるのです。そういうわけで私は貢献の実感が仕事の満足感を高める最大の要因だと考えます。単純過ぎるように思えるかもしれませんが、真実は往々にして単純さの中に存在しているのです。

どうでしたか。フトシの言ったことは聞き取れましたか。彼の主張の要点は分かりましたか。オーケー、それでは、彼がたった今言ったことを説明しますから、よく聞いてください。

はい、ゲーリーはまず、スーザンというヘアスタイリストが全ての顧客との会話を仕事の後に記録して、どの顧客とも会話を楽しめるように工夫しているという本文の内容を要約してくれました。

そして、これに関連して興味深い調査結果を紹介してくれましたね。その内容はアメリカ人の 47.7%が「仕事に満足している」と答えているということ、逆に言えば半数以上が満足していないということ、それから、働きがいは人それぞれで、お金と答える人もいれば職場の人間関係と答える人もいること、などでした。

ゲーリーは他にも様々な要因があるかもしれないとした上で、「働きがいに影響を与えるものは何か」または「あなたにとって働きがいの最も大きな要素は何か」という質問を投げかけました。

これに対して私は、人によって、あるいは状況によってもその要素は異なるかもしれないが、自分にとって最も重要なのは「貢献の実感」だと主張しました。

そして、お金や名声などの「外的要因」と、自己成長や仕事の重要性、貢献の実感など「内的要因」を対比させ、後者の方が仕事自体と自分自身の内面に直接関わるから、より重要ではないか、とした上で、今度は「内的要因」の中でも貢献の実感が他の内的要因よりも自分にとっては重要だと答えたのが分かりましたか。

その上で、貢献の実感が自分にとって最も重要な理由を説明して、だから貢献が自分にとって最も重要だと、最初に述べた主張と同じ主張を繰り返す形で結論を述べる形を取りました。

リスナーの皆さんはもうお分かりのことと思いますが、英語は、あるいはプレゼンは「形」

が大事なんですね。

ぜひ、英検の公式ウェブサイトからスクリプトをダウンロードして、英文とその構成を確認してください。前回までのものと比較すると一層効果的です。

さあ、フトシの話をもう一度聞いてみましょう。よく注意して聞き、彼の意見の表現方法に注目してください。

仕事の満足感を決定付ける重要要因は個々人の価値観や状況によって変化するように思われます。しかし、私にとっては貢献の実感が一番です。

私は仕事の満足感に結びつく主要な要因は大別して二つに分かれると思います。一方は外的、もう一方は内的要因です。

外的要因は金、昇進、名声、労働時間そして労働環境を含みます。こうした外的は私たちの仕事に対する姿勢に影響を与えるかもしれませんが、それらは仕事そのものと深い意味での真の精神とは全く関係がないので、その効果は限定的かつ表面的かもしれないのです。

一方、仕事の重要性、明確な方向性と目的、個人としての成長、そして貢献の実感などの内的要因は仕事そのものと直接的に結びついており、人間として意義ある生き方をしたいという深く根差した願望と密接に関連しています。こうしたことが外的要因よりも仕事の満足感を高めることができるのです。

さらに、内的要因の中でも、貢献の実感が最も重要であり、仕事の満足感の本質的な源だと思います。私の考えでは、仕事の本質は貢献です。人間は自身の行動が他者の役に立って初めて満足する動物です。もし、私たちが他者に期待を上回る貢献ができれば、相手だけでなく自分自身も幸福を感じることができます。こうした幸福の共有意識は、そしてこの幸福は自分の行動の結果であるという事実は、両者にとっての大きな満足へとつながる可能性があるのです。つまり、私たちは他者の役に立つことによって満足することができるのです。そういうわけで私は貢献の実感が仕事の満足感を高める最大の要因だと考えます。単純過ぎるように思えるかもしれませんが、真実は往々にして単純さの中に存在しているのです。

■ Closing Dialogue (結びの対話)

G: フトシ、今回もまた、君は上手く組み立てられた構造と対比のメソッドを使って自分の意見を効果的に提示したね。いつものように、僕はリスナーの皆さんにスクリプトをダウンロードして君の答えの構造を研究することを強く勧めたい。

F: ありがとう、ゲーリー。確かに、僕は意図的に内的要因と外的要因を対比させて前者を強調しようとしたよ。さらに、貢献の実感を最も本質的な要因に特定して、これを際立たせるために他の重要な要因と比較したんだ。

G: なるほど、それはとても興味深いね。仕事の満足感といえば、フトシ、今どう思うかな？ これが最後のポッドキャストシリーズだよ。ファーストシリーズの最後の番組で、君はシリー

ズを上手く終わらせることができたととてもほっとしているからとても幸せな気分だと言ったよね。覚えてるかい？

F: ああ、もちろん覚えてるよ。あのときとても安心したなあ。

G: 今回はどうだい？ 今の気分は？

F: ほっとしただけじゃなくとても満足してるよ。そして、本当の意味で僕らが実際にリスナーの皆さんに貢献してきたと思いたいね。

G: ぼくもそう思うよ。そして僕もとても満足してる。この仕事を通じて、僕たちは互いに成長してよりいいチームになったよね。僕らは恐ろしいほど忙しくても、共通の目的を達成するために互いに協力し合い、一緒に仕事を楽しくできたよね。これも仕事の満足感における主要な要因になりえるかな。

F: 全く同感だよ、ゲーリー。だけど、君は「僕らの」仕事の満足感を高めるのに欠かせないもう一つの要因のことを忘れてるんじゃないよね？

G: オーケー… この収録が終わったらすぐ、僕らの努力へのご褒美として…

G/F ビールを飲みに行こう！

さあ、今回のレッスンはどうでしたか。後半は少し難しかったかもしれませんね。ぜひ、英検のウェブサイトからスクリプトをダウンロードして復習してください。それから何度も聞き直して、自分でも話せるように練習してみてくださいね。Repetition や Shadowing だけでなく、話す内容の構成を組み立てること、そして相手に伝えること、こうしたトレーニングを続ければ、あなたも必ず『英語ができる人』になります。

ところで今回、セカンドシリーズ第10回目のタイトルは“Job satisfaction”でした。皆さんの働きがいは何でしょう。今日、今の時点での reward を重視して、私はこれからゲーリーとビールを飲みにいっちゃいます。

～ Free Talk ～ (最終回を終えて)

Thank you!

<講師陣プロフィール>

伊藤 太 (Futoshi Ito)

大手予備校・有名進学塾等で英語講師を務め、東大クラス・医学部コース等を担当。作成した教材から東大・筑波大等の入試長文問題を的中。コーチングを取り入れた研修方法を確立し、数多くの講師・教員の授業力・授業アンケート向上に寄与。現在、多数の私立学校にコンサルタント、アドバイザーとして関わりとともに、ネイティブスピーカーを含む学校教員・予備校講師（100名超）のコーチを務める。

ゲイリー・スコット・ファイン (Gary Scott Fine)

オレゴン州ポートランド出身。スタンフォード大学大学院修士課程修了（東アジア研究）、南カリフォルニア大学大学院修士課程修了（映画・テレビ研究）。現在、東海大学外国語教育センター准教授。主な研究テーマはエンターテインメントメディアを通じた第二言語習得。

朝日新聞・土曜版、『ENGLISH JOURNAL』（アルク）、『CNN ENGLISH EXPRESS』（朝日出版社）に映画・ドラマに関わる英語コラムを連載中。NHK 教育テレビ、アルクヒアリングマラソン等多数の番組で出演及びテキスト執筆で活躍。